

基本情報



【年齢】
38歳
【出身地】
千葉県 野田市
【転出元】
東京都 世田谷区
【前職】
農業コンサルタント
【活動時期】
R元.7~R5.3 (4年目)
※新型コロナウイルス感染症により活動に影響を受けた地域おこし協力隊員の任期特例を適用

協力隊に応募したきっかけ

前職で伊江村の方と知り合い、かつては落花生の大産地であったことを教えてもらいました。

沖縄県産の需要はあるにも関わらず、人口減や高齢化で島内に人手が足りず伸び悩んでいる状況を何とかできないかと思ったことと、コンサルタントとしてではなく地域に根差して取り組みたいという考えたことから、協力隊という形で関わることにしました。

今後の抱負・任期後の目標

在任中に立ち上げた落花生1次加工場の自主経営、落花生の生産量のさらなる増加、伊江島産落花生の販路拡大と新たな商品開発の促進を目指しています。

退任後の安定的な収入の確保がまだ課題ではありますが、任期後もそれらの活動に携わり、伊江島の落花生の地域商社的な役割を果たしたいです。

「農業」や「食料自給率の向上」は学生時代から前職、現在まで自分の人生を貫いているテーマなので、今後も死ぬまで貫き通していくことになると思います。

活動内容

●活動内容1 落花生の栽培を広めています

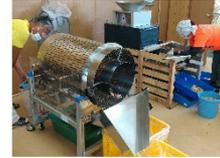
伊江村は、昔から落花生（島の言葉で「ジーマミ」）が栽培されてきた離島の村です。出荷にかかる手間や安価な輸入品との競争により、生産量は減少傾向にありました。私の出身地・千葉県を参考にしながら、沖縄の環境に合った栽培方法を研究し、種用の落花生を栽培して希望者に配布することで新たに植える農家を増やしています。



●活動内容2 落花生の集出荷拠点を立ち上げました

沖縄産の落花生は希少なため製造業や飲食店からの問合せは多かったのですが、安定的に出荷する体制が整っていなかったため拠点となる1次加工場を立ち上げました。

建物は使われなくなった建物を活用し、設備は他産地を参考に最適だと思えるものを導入し、人員は農閑期の農家や主婦、福祉作業所などに声をかけて集まってもらいました。



●活動内容3 伊江島産落花生の宣伝隊長をやっています

村内外のイベントに出て一般の消費者向けにPRしたり、都市部で飲食店関係者向けの試食宣伝会を開催するなど、伊江島の落花生を村内外に知ってもらうための活動にも取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) nakamura@iejima.org
(電話番号) 0980-49-3161 (伊江村役場農林水産課内)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://Instagram.com/iejima_iju_official